



# TOPICS



子どもや高齢者への歩行者教育に活用できる教材について話し合う

## 2 交通指導員の方々の知識と経験をもとに新たな教材の開発をめざす

●交通指導員教材研究会

ホンダでは、地域で活躍している交通安全指導員の方々に相互の指導方法の確認や意見交換を通じて指導力の向上に役立ててもらおうことを目的に、情報交換会や合同研修会を定期的に開催している。今年は新たな試みとして、8月から9月にかけて全国5カ所で交通指導員の方々とホンダによる「教材研究会」を実施した。現場での指導を担う方々の知識・経験と、ホンダのノウハウを組み合わせることで、効果的で使いやすい教材を開発することが目的で、この研究会はその第一歩である。

8月19日、20日には、福島県福島市内のホテルで「北関東・東北地区教材研究会」が開催され、栃



2日間にわたって討議した内容をグループごとに発表

木県、茨城県、岩手県、宮城県、福島県から交通指導員18名が参加した。参加者は4〜5名のグループに分かれ、グループごとに子ども（幼児・小学校低学年）や高齢者への歩行者教育に活用できる教材をテーマに討議。現状の指導内容や手法の課題について共有し、そうした課題を解決するために有効と考えられる教材のアイデアを出し合った。

参加した交通指導員の方々からは「少人数での討議だったので、他の地域の方とじっくり意見交換ができて有意義でした」「教材の開発に携われるということでも参加しました。私たちの声が少しでも反映されたら、うれしい」という声が聞かれた。こうして各地の「教材研究会」で集まったアイデアや意見は、今後のホンダの交通安全教材の開発に活かされる予定だ。

## 3 第15回セーフティジャパンインストラクター競技大会 9カ国65名のインストラクターが指導力と安全運転技術を競う

9月25日、26日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センター（三重県鈴鹿市）にて、「第15回セーフティジャパンインストラクター競技大会」が開催された（主催・本田技研工業（株）安全運転普及本部）。この大会は、安全運転普及の各分野で活躍するホンダの安全運転インストラクターの指導力ならびに運転技術の向上と均質化を図る場と機会の提供を通じ、世界に通用するインストラクターの育成を目的に1997年より開催されている。今回は国内から42名、海外はシンガポール、タイ、ベトナム、インド、インドネシア、マレーシア、トルコ、オーストラリアの8カ国から23名、総勢65名が参加した。選手は、グループA（国内交通教育センター）、グループB（本田技研工業（株）、（株）本田技術研究所、ホンダエンジニアリング（株）、グループC（海外連結子会社・関連会社・現地法人）に分かれて、安全運転の知識、技量、スキルをはかる競技や審査に取り組んだ。競技は、「二輪部門」「ブレーキング」「コーススラローム」「一本橋」



今大会は9カ国から総勢66名のインストラクターが参加



二輪「一本橋」

※1 指導力審査＝安全運転の指導者としての幅広い知識と指導力を確認することが目的で、インストラクター3名1組がそれぞれメインインストラクター・サブインストラクター・受講者役となり、与えられたテーマについての指導方法を競う。

また、「第15回セーフティジャパンインストラクター競技大会」に先立ち9月23日、24日には「Safety Driving Managers Meeting」（主催・本田技研工業（株）安全運転普及本部）を開催。日本、タイ、ベトナム、インド、ブラジル、トルコ、マレーシアの7カ国からホンダの事業所の安全運転普及活動推進責任者11名が参加した。



四輪「コーススラローム」

## 4 国立長野工業高等専門学校 学生への安全運転教育にホンダのKYT教材を活用

●国立長野工業高等専門学校

9月26日、国立長野工業高等専門学校で同校の5年生約200名を対象にした交通安全講習会が実施された。今回、指導を担当する同校5学年主任で電子情報工学科の芦田和毅准教授はホンダのホームページにある「道路のキケン、発見！」というKYT（危険予測トレーニング）のコンテンツを講習会の中で活用。その背景を次のように話す。「5年生は19〜20歳にあたり、四輪の運転免許を取得してクルマを運転する学生が多くな



ドライバー向けの交通場面を提示し、各場面に潜む危険について学生に答えてもらう



るところ、ホンダのコンテンツを知りました。動画なので視覚的にわかりやすい教材で、学生の危険予測能力の養成に適していると感じました。

芦田准教授はドライバー向けのケーススタディ10場面を選び出し、各場面ごとに動画を再生。講義室のスクリーンやモニターに映し出され、危険場面にさしかかると動画が止まる。その場面のどこに危険が潜んでいるか、芦田准教授は学生を指名して聞いていく。そして、停止した動画の続きを流し、解説を加えた。長野県は冬期に降雪があることから、雪が残る道路や、路面が凍結した道路を題材にしたケーススタディも取り上げられた。

「5年生は最終学年で、進学や就職など進路が決まっているため、この時期は気が緩みがちです。運転にも慣れた頃なので、安全運転の大切さを再確認してもらおう意味でも、効果的だったと思います」と芦田准教授は講習会の成果を語った。

**ホンダ 危険予測トレーニング** 検索

※2 <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/> ケーススタディ25場面を取めたDVDも販売中。詳しくは上記ホームページを参照